

女性ならではの視点で厳選した 沖縄素材の魅力を国内外へ発信

株式会社 健食沖縄

代表取締役



たいら のりこ
平良 範子



多種多様な健康食品や自然化粧品が揃う。沖縄の植物エキスを配合した新商品「美メリッチゴールドクリーム」は特別価格 2,500 円 (通常 5,000 円) で販売中。直営店舗「健康市場」や通信販売で購入できる。

株式会社 健食沖縄

■住所：那覇市壺川 2-2-9
■TEL：098-853-6689 FAX：098-853-6688

人との繋がりが事業を後押し

創業以前は飲食店を営んでいたという平良社長。出身地である本部町の地縁で、地場産業を発展させるための応援に加わったことを機に、発酵ウコンを取り扱う琉球バイオリソース販売株式会社の代理店となり、2000年に那覇市で健康食品の卸売業を開始した。

沖縄ブームと健康ブームの波に乗り、マスコミで取り上げられると発酵ウコンは大ヒット。人脈にも助けられ、シークワサー、黒糖、沖縄コスメ…と商品数を増やし順調に売り上げを伸ばした。

「生産者やメーカーの方々の協力があったからこそ」と平良社長。多くの出会いが事業を支え、「県産品の魅力をもっと世の中に伝えたい」という思いに繋がった。

売上アップに拍車をかける女性パワー

現在、健食沖縄の取り扱い商品は約1,000種類にも及ぶ。健康食品のほか、沖縄素材を使った自然化粧品も洗顔料からパック、美容液まで豊富に揃い、「美美（ちゅらび）」シリーズとしてオリジナル商品の開発も行っている。

モズクやアロエ、クチャ（泥）、珊瑚でろ過された地下浸透水など、天然素材にこだわった沖縄コスメは、低刺激で保湿や洗浄効果も高く、年齢層や肌タイプを問わず安心して使えるため、県内外で多くの女性に支持されている。5月には、虫除け効果もある月桃エキスを配合した子どもの肌にもやさしい日焼け止めクリームを発売する予定だ。

自分の目で確かめ納得し、選び抜いたものを提

供するため、必ず生産者のもとを訪ね扱う商品を徹底的に研究する。そこには日々食事の支度や家族の健康を管理する主婦の視点が活用されており、健食沖縄のスタッフは自然に女性が多くなった。

販売スタッフが自社商品を実際に調理したり、日常の食卓に取り入れることにより、PRにも説得力が生まれ、消費者の購買意欲が高まる。豊かな経験を現場に生かし、驚異的な売り上げを誇るシニアスタッフもいるという。

空港店舗でアジアヘアピール

昨年11月にオープンした那覇空港国際線ターミナルビルの直営店舗では、外国人観光客にアンケートを取り、県産品の認知度アップやリピーターの獲得に力を入れている。

アジアの市場に合わせると価格を下げる必要が生じるため、商品価値の伝え方が目下の課題だ。売り上げの7割を占める健康食品はまとめ買いを薦め、続けることで効果を実感してもらう。また、化粧品に関しては、大手メーカーの商品を求める声が根強く、沖縄コスメに目を向けてもらうには時間が必要だという。しかし素材へのこだわりや品質には自信がある。中国語や韓国語で商品の特徴をわかりやすく説明したポップやパンフレットを作ることで売り上げアップにつなげ、他社にも貢献していきたい。

「今後も地道に聞き取りを続け、沖縄の伝統を海外へ伝えていきたい」と平良社長。女性ならではの細やかな気配りは、外国人客に対してこそ力を発揮するだろう。